

情報えひめ（財団からのお知らせ）【134号】



平成30年7月豪雨災害により犠牲になられた多くの方々に対しまして、心からお悔やみを申し上げますとともに、被災され今なお生活再建や事業再開にご苦勞を重ねておられる皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

当財団におきましては、愛媛県内で被災された事業者様の経営再建のご相談などにも積極的に対応していく考えですので、事業再開など復旧にめどがつかましたら、よろず支援拠点やビジネス・サポート・オフィスなどにお気軽にご相談いただきますようご案内いたします。

公益財団法人えひめ産業振興財団理事長 大塚岩男



今回の目次

◎イベント・募集情報等

- [1] 価格交渉サポートセミナー開催のご案内
- [2] 平成30年度 高度IT人材創出・育成研修のご案内
- ※ ちょっと「一服、⑩」～話の彩りに～

—[イベント・募集情報]—

◆ [1] 価格交渉サポートセミナー開催のご案内

この度、下請等中小企業の方が取引先との価格交渉を行う際に、あらかじめ知っておくべき基本的な法律の知識、トラブル発生のおそれのある取引や交渉のヒントになる事項等について、分かりやすく解説するセミナーが昨年に引き続き次のとおり開催されることとなりました。

つきましては、今後の取引適正化のためにも是非、本セミナーへご参加下さいますようご案内申し上げます。

※詳細URL：<http://www.zenkyo.or.jp/kakakusupport/seminar.htm>

日時 平成31年1月23日（水）14：00～16：00（受付 13：30～）  
場所 テクノプラザ愛媛 本館 2F 一般研修室  
松山市久米窪田町337-1 <http://www.ehime-iiinet.or.jp/>  
講師 価格交渉や営業力強化等の指導実績を有する中小企業診断士  
定員 50名（募集定員になり次第、締め切らせていただきます）  
受講料 無料

■問い合わせ先

（公財）全国中小企業振興機関協会 価格交渉サポートセミナー相談室  
TEL 0120-735-888 FAX 03-5541-6680  
〒104-0033 東京都中央区新川2-1-9 石川ビル  
ホームページ：<http://www.zenkyo.or.jp>

◆ [2] 平成30年度 高度IT人材創出・育成研修のご案内

高度化する情報関連産業のニーズを踏まえ、実践かつ即戦力として活躍できる

人材を育成するため、IT技術者の実務・技術両面のスキルアップにつながる高度IT人材創出・育成研修を実施しております。

なお、本事業には、賛助会費収入を財源として充てています。

<各講座とも残席が少なくなっております。申し込みはお早めに！>

- 1 【講座名】 Python によるディープラーニング入門  
【実施日】 2019年1月16日(水)～17日(木) 2日間  
【概要】 第4次産業革命の主役の一つであるAIについて、そのキーワードである機械学習とディープラーニングの基礎をPython言語を使いながら学習します。  
Googleがオープンソースで公開しているTensorFlowを使ってディープラーニングとはどんなものかを体験します。
- 2 【講座名】 IT業界におけるニーズ把握と提案  
【実施日】 2019年2月21日(木)～22日(金) 2日間  
【概要】 システムの最上流である企画の部分にクローズアップして、1枚ものの簡単な企画提案書を作成し、提案営業等を実施できるスキルを具体的な演習を通じて身につけます。  
また、顧客の真のニーズを見つけ出し、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得し、顧客の心をつかむITソリューションを提示する方法を研修します。

※各講座共通

【場所】 テクノプラザ愛媛

【定員】 各講座15人(受講申込書により申込必要)

【受講料】 2日間15,000円/人(テキスト代込)

※詳細URL: <http://www.ehime-iinet.or.jp/it/1054>

◆ ※ ちょっと「一服」、⑩ ～話の彩りに～

☆☆

子規と最澄には似たところが多い。どちらも物事の創始者でありながら政治性をもたなかったこと、自分の人生の主題について電流に打たれつづけるような生き方でみじかく生き、しかもその果実を得ることなく死に、世俗的には門流のひとびとが栄えたこと、などである。

(『街道をゆく』、第16巻「叡山の道」p.38)[朝日文庫]

比叡山延暦寺そして天台宗(大乘仏教)の開祖である最澄(767年ごろ～822年)は、その後半生を、政治と密接に関係していた奈良仏教(小乗仏教)との論争に費やし、体系だって仏教をまとめる時間がなかった。最澄のあとを受けて、法然(浄土宗)をはじめ、日蓮(日蓮宗)、親鸞(浄土真宗)、栄西(臨済宗)などが比叡山で修業し、現在につながる日本仏教体系を彩った。

小乗仏教…選ばれた者のみが仏になれるという考え

大乘仏教…人はみな仏になれるという考え(のちには草木も土も仏)

\*「乗」とは「のりもの」の意味で、小乗は小さいのりもの、大乘は大きいのりもの

一方、正岡子規(1867～1902年)は西洋化が進む明治の時代に何事かをなさんと、俳句の革新にとりくんだ。子規没後は、高浜虚子や川東碧梧桐などが継承しその体系をそれぞれに完成させる。

ふたりとも、その教義や俳句のあり方を体系的に成立させる前に、志半ばで亡くなっている。宗教や文化の基礎というものは、司馬の言葉をかりれば、「知的で無私で情熱的な持続力をもった」(第28巻「耽羅紀行」p.110)人たちがものごとを深く掘りさげてこそ生まれる

ものかもしれませんね。

ちなみに、最澄のライバルとされた空海について、司馬は、「生存中にその教学を大成してしまった」とし、「その後の歴史において真言宗の教学は発展していない」という。隙のない理論や考えからは、なかなか新しいものを生みだせないのかもしれないですね。

((公財)えひめ産業振興財団専務理事 渡瀬賢治)

☆☆

財団専務理事の渡瀬です。私の愛読書『街道をゆく』(司馬遼太郎)を中心にした話を綴らせてもらいます。皆様方の話の彩りの一つになれば幸いです。

---

最後までご覧いただきありがとうございます。  
このメールマガジンは、財団職員と名刺交換させていただいた方や  
「情報えひめ」を配信希望された方に毎月1回、配信させていただいております。

[配信登録・解除ご希望の方はこちら↓]  
zaidanmm@ehime-iinet.or.jp までメールでお知らせください。

「  
発行責任者：  
公益財団法人えひめ産業振興財団 総務課  
松山市久米窪田町337番地1  
Tel : 089-960-1100 Fax : 089-960-1105  
http://www.ehime-iinet.or.jp/  
」